

2022. 7. 31



† 聖日礼拝 前11時

(司会)

加山真路 牧師

奏楽 佐藤三四子 姉

招詞 ヨハネによる福音書4章23節

讚美歌 四一六

主の祈り 九三(5A)

交誦詩編 一三〇

使徒信条 九三(4の1A)

讚美歌 二四

祈禱書 エレミヤ書1章4〜8節

マルコによる福音書5章25〜34節

讚美歌 五一

説教 「主によって変えられる」

柴田朋子 神学生

祈禱 四七五

讚美歌 四七五

献金 二七

讚美歌 二七

祝禱 二七

報告

§ 今週の集会

8月定例役員会 31日 後1時

祈禱会 3水休会

臨時責任役員会 6土 後2時

◆ 今日の会堂掃除(2・3F礼拝堂のみ)

礼拝後、有志でお願いします。

※トイレは有志が週日にご利用ください。

夏期特別献金

目標額 一九〇万円

使途 教職への感謝のしるし、教会の諸活動のために。

期間 本日で一応の締め切りですが、ご都合で

8月に入ってからでも結構です。

〈礼拝当番〉(オンラインでは割愛)

※ コロナ禍も「第7波」の勢いが止まりません。6月19日から「レベル3」⇒2区分に緩和したばかりですが、神奈川県内も病床ひっ迫が顕著になってきことを受け、役員会で協議した結果31日(日)から「レベル4」⇒3区分に引き上げることになりました。

したがって、7月31日の出席地区は(会員名簿の)「六角橋」「緑区・青葉区・都筑区」・市内」の方々ですが、出席については、くれぐれも慎重にご判断ください。

* 個人消息 (オンラインでは割愛)

◆ 8月2日〜4日は丹沢ホームでの夏期学校が予定されていましたが、コロナ感染症のため3年続けての中止となってしまいました。そこで折角の機会なので青年・ベタニア「夏の会」を同じ日程でおこなうことを計画したのですが、残念ながら開催に至りませんでした。しかし、丹沢ホームとのかかわりも大切にしたいとの願いもあり、「神学生の夏期研修プログラム」を3日、4日に集中しておこなうことにいたしました。

* 予告 8月の集会「平和を考える」

「地域を耕す」ぶかぶか な物語

日時 8月7日(日) 午後1〜3時(昼食は各自で)

※ 感染症対策として人数を把握しておきたいので、月末までに事前予約をお願いします。

場所 六角橋教会1Fホール

講師 高崎 明さん(NPO法人ぶかぶか代表)

「地域を耕す」を合言葉に、「障がいを持った方たちといっしょに生きたほうが得です」「もっと生きやすい社会ができるはずだから」とおっしゃる講師社会に集くう「不安の正体」に向き合いつつ、「平和とケア」の原点と原風景を、動画とワークシヨップをおして、楽しく学びましょう。

※ 事前に観ておいたきたいという動画(ぶかぶかの活動紹介)については、チラシのQRコードからどうぞ。

また当日は、オンライン配信で、発言やワークシヨップも参加できる双方向型を予定しています。ご希望の方は教会宛にメールをくだされば、URLをお教えいたします。

* 今年度の墓前礼拝（6月19日）の録画編集作業が終わりました。教会ホームページ経由でご覧になれます。また、下記QRコードよりどうぞ。



◆ 2022年度の総会資料の正誤表ができました。これをもとに、資料を訂正してください。まだ間違いがみつかりましたら、どうぞお知らせください。

隠退教師を支える百円献金

分散礼拝の間は、毎週お受けしています。

◆ **ウクライナ救済募金** できるだけ早い解決を望みつつ、募金をおこなっています。8月末までの予定でしたが、日本基督教団社会委員会より、12月末まで期間延長のお知らせがありました。

◆ 寿地区センターへ献品及び募金のお願い

（8月3日）（水）午前中まで

（連絡係：助豊子、小倉薫）

* 前週の報告

聖日礼拝	男	女	計	(求)	(献金)
7/20折祷会	12	44	56	(10)	三九、四五八円
	2	8	10	(0)	

S ささげもの(オンラインでは割愛)

〒221-0802

横浜市神奈川区六角橋一の二六の八

○四五(四三三)〇六九四

FAX(四三三)〇一九四

郵便振替口座00250・2・979

日本基督教団 六角橋教会

旧約聖書 (エゼキヤ書 1章4〜8節)

4 主の言葉がわたしに臨んだ。

5 「わたしはあなたを母の胎内に造る前から
あなたを知っていた。母の胎から生まれる前に
わたしはあなたを聖別し

諸国民の預言者として立てた。」

6 わたしは言った。「ああ、わが主なる神よ

わたしは語る言葉を知りません。

わたしは若者にすぎませんから。」

7 しかし、主はわたしに言われた。

「若者にすぎないと言ってはならない。

わたしがあなたを、だれのところへ

遣わそうとも、行つて

わたしが命じることをすべて語れ。

8 彼らを恐れるな。わたしがあなたと共にいて
必ず救い出す」と主は言われた。

- 25 さて、ここに十二年間も出血の止まらない女がいた。
- 26 多くの医者にかかって、ひどく苦しめられ、全財産を使い果たしても何の役にも立たず、ますます悪くなるだけであつた。
- 27 イエスのことを聞いて、群衆の中に紛れ込み、後ろからイエスの服に触れた。
- 28 「この方の服にでも触れればいやしていただけ」と思ったからである。
- 29 すると、すぐ出血が全く止まって病気がいやされたことを体感じた。
- 30 イエスは、自分の内から力が出て行ったことに気づいて、群衆の中で振り返り、「わたしの服に触れたのはだれか」と言われた。
- 31 そこで、弟子たちは言った。「群衆があな
たに
-
- 押し迫っているのがお分かりでしょう。それなのに、『だれがわたしに触れたのか』とおっしゃるのですか。」
- 32 しかし、イエスは、触れた者を見つけようと、辺りを見回しておられた。
- 33 女は自分の身に起こったことを知って恐ろしくなり、震えながら進み出てひれ伏し、すべてをありのまま話した。
- 34 イエスは言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。もうその病気にかからず、元気に暮らなさい。」